



セミナー インフォメーション

第 17 回定例研修 『事業経営と知財戦略』～知財活動の推進と知財技能士の役割～

動画配信期間：2015 年 4 月 15 日～2016 年 4 月 14 日

知的財産管理技能士会の研修委員会では、知財技能士が資格取得後も継続して知識・技能を高めることを目的として、研修という形で定期的に学習の機会を提供しています。知財現場での今日的な課題からテーマを厳選し、経験豊富な第一線で活躍している実務家を講師として招聘し、実施しています。今年度はそれらのテーマの中でも、知財技能士には欠かせないビジネス・スキルの向上に関連するテーマを目的とした研修を実施いたします。

今回は、2015 年 4 月 15 日より配信中の第 17 回定例研修についてご紹介します。

第 17 回定例研修 <収録日：2015 年 3 月 27 日>

『事業経営と知財戦略 — 知財活動の推進と知財技能士の役割 — 』

【講師】上柳 雅誉 氏（セイコーエプソン株式会社 知財顧問／上柳特許事務所 所長）

（略歴）1975 年諏訪精工舎（現セイコーエプソン株式会社）入社以来、知財業務を担当。当初 10 年間は幅広く実務を担当。次の 10 年間はライセンスに専念。95 年に部長（その後本部長）となり 19 年間知財トップとして全社知財管理を担当。また 2000 年に役員となり業務執行役員、常務取締役等を歴任し全社経営を担当。14 年より現職。

現在、独立行政法人工業所有権情報・研修館監事、一般財団法人知的財産研究所理事、日本ライセンス協会副会長、知的財産管理技能検定 技能検定委員等。



お知らせ 平成 27 年度「知財功労賞」において、上柳先生が特許庁長官表彰の「知的財産権制度関係功労者」として表彰されました。

<研修のねらい（講師より）>

日本企業は、技術力があり知財もあるのに事業で勝てないとよく言われています。その原因は、知財戦略の欠如にあると思います。一方、知財担当者からは、「トップから知財は大切だからしっかりやってくれとは言われているが、何をやったらよいのかわからない」「自社の技術力が貧弱で知財戦略を立てるには程遠い」「うちのトップは知財に理解がないので知財活動がやりにくい」「知財体制が貧弱で何もできない」などの声をよく聞きます。

本研修では、セイコーエプソン株式会社（以下「エプソン」）の知財戦略の概略とともに、変化する世界情勢の中で我が国企業が目指すべき知財戦略を説明します。また、開発現場での日々の知財マネジメントを例に、知財管理の基礎も説明します。そのうえで、知財活動は、「どこから手を付け、どこを目指して、どのように推進したらよいか」について理解していただくことをねらいとします。

<こんな方におススメ>

- 特許のみならずコンテンツやブランドなど知財部門の業務に携わる知財技能士の方々
- 知財部門の業務に従事してはいないが知財戦略や知財を活用した経営に関心がある知財技能士の方々

(講義プログラム：約 180 分)

1. 事業経営と知財戦略

- ・経営が知財に求めるもの
- ・企業の知財戦略（セイコーエプソンの例）

2. 開発現場における知財マネジメント

- ・事業状況に即した出願活動のポイント
- ・自社開発や自社商品の自問からの出願活動
- ・将来予測を先取りした出願活動
- ・開発マネージャー・知財担当者の役割

3. 新興国の知財状況

- ・模倣品状況
- ・中国等新興国の知財状況

4. これからの日本企業の知財戦略

5. 知財活動推進のポイントと知財技能士への期待

- ・知財活動推進のポイント
- ・知財担当者のミッション
- ・知財技能士への期待

6. トピックス・トーク

1. 講義プログラムのポイント

(1) 体系的かつ具体的な知財戦略の解説

一般の知財関連のテキストでは、法律面の記述が多くなりがちであるため、知財戦略・知財活動の推進といった知財の事業経営面は十分にカバーされない傾向があります。本研修では知財をこれらの事業経営面から考察し、日本企業がとるべき知財戦略の要諦や企業内での知財活動推進のポイントにまで言及します。また、講義全体を通じて、事業を行うにあたり有効な知財戦略・知財活動について、体系的にかつ具体的に説明いただいています。

本研修の講師である上柳先生は、エプソンでは、機械式時計やエポックメイキングな商品となる水晶時計などを源流とするデバイス精密機器や、現在のエプソン事業の大きな柱となっているプリンタを始めとする情報関連機器の分野でエプソンが日本の市場を一貫してリードし続

ける過程をご覧になってきました。日本企業が高度成長の下、その技術を携えて世界の市場に攻めにいった時期や、日本が世界第2位の経済規模を達成し技術により攻めと守りの両面の戦いを強いられるようになっていった時期の双方を経験されました。多様な環境下での知財戦略遂行の過程を、国内外で、知財担当として常に第一線で推進してきたご経験をお持ちの上柳先生ならではの深い洞察に富み、知財に関連する業務に携わる者にとっては「気づき」が多い研修内容となっています。

(2) 知財担当者目線の事業経営と知財戦略

経営戦略の主要な柱のひとつである知財戦略が他の主要な柱である事業戦略・開発戦略と三位一体として策定・実践されていくために、知財担当者が果たすべき役割について確認していきます。「経営が知財に求めるもの」に関して考

察します(図)。加えて、知財戦略策定のタイムスパン、知財戦略の全社的共有・深化・実践のプロセスや、それらを実現するための組織・人材開発・報奨制度などのあり方について考察します。

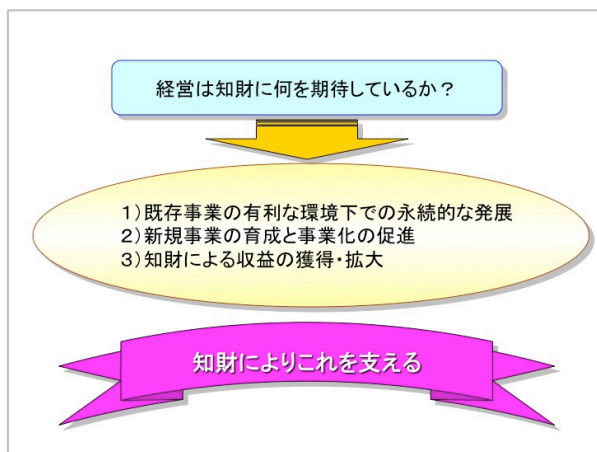


図 経営が知財に求めるもの

出典：講義資料より

(3) 開発者目線の知財マネジメント

自社の事業ポジション・事業形態などや将来の市場・製品予測により異なってくる出願活動や知財力向上・知財防御の方法、開発活動に関連した知財担当者の役割などについて、知財マネジメントの戦術的側面を掘り下げます。

(4) 事業環境に応じた知財戦略

企業や事業の立場により知財戦略や戦術も変わります。時に国の経済の成長段階の違いなども見ながら、多様な企業、事業のフェーズについての考察を行うことにより、知財活動の推進をするにあたって検討が必要となる事項やアプローチの方法などについて確認していきます。

具体的には、新興国、とりわけ中国の知財状況について確認した後に、日本企業の過去の敗因と日本企業がこれからとるべき知財戦略につ

いて考察していきます。

また、講義本編の最後では、知財活動推進のポイントや知財担当者のミッションに関する上柳先生のお考えや知財技能士への期待を伺います。

(5) 対話形式で講義全体の振り返り

今回の研修で実施したトピックス・トークでは、事前に研修参加者から募集した質問に対する上柳先生のお考えなどをお聞きしながら、多岐にわたり密度の濃い講義本編の内容を振り返ることにより理解を深めます。



2. 企画を担当した研修委員のコメント



「知財技能士が会社経営に参画するヒントが満載」

研修委員 中村 正之（メーカー勤務、2級知財技能士）

10年前と比べ知財は重要と言われますが、企業の知財部門での活動は、出願・権利化業務がまだ中心ではないでしょうか。この業務も重要ですが、私達、知財技能士はもっと経営に参加し、会社の成長・発展に貢献できるのでしょうか。

上柳先生のエプソンでの知財担当者、知財責任者、経営層のご経験から、経営層・知財責任者の立場からは事業戦略と知財戦略の話を、知財担当者の立場からは、現場の知財活動の指針

を中心にお話しいただいています。

後半は、現在、知財の世界で起こっている出来事を俯瞰し、活動のポイントと「兵卒から軍師へ」と知財技能士へエールを送られています。

最後のトピックス・トークは、講義の中で、研修に参加される知財技能士のみなさんの関心が高いと思われるトピックスをこの研修を企画した研修委員との対談形式で深掘しています。

すべての知財技能士に、特に企業の知財部門の現場で活動する知財技能士の方に観ていただきたい内容です。

3. 会場受講した研修委員のコメント



「自分の日常業務を出発点に学習できます。そして動画受講を繰り返し行いたくなる講義です。」

研修委員 小山 亜夫（メーカー勤務、1級知財技能士（特許））

今回は講義を聴講しながら不思議な体験をしました。それは、聴講していると日頃の様々な業務シーンが頭の中でよみがえり、その様々な

業務シーンと先生の話される言葉の1つ1つとがリンクしていくように感じられたことです。

日頃の業務活動の中に課題解決のための大事なヒントが隠れていて、そういったヒントが毎日の業務活動から得られることを、あらためて教えていただいたように感じています。

本講義は「知財活動の推進と知財技能士の役割」を副題にしています。本講義では先生の話されるいろいろなキーワードが知財担当者に関連する業務とつながっているので、知財担当者であれば、ご自身の日常業務を出発点にして知財技能士としての力を高めることができると思います。それ以外の知財技能士の方々にとっても、副題に挙げているテーマを通じて、知財技能士の役割を見つめ直せますので、より多くの方にぜひ動画視聴していただきたいと思います。そして、私自身もこれから1年間提供される動画視聴を利用して、さらに学習を深めていきたいと考えています。何回も繰り返し聴講したくなる内容です。

受講方法

■ 定例研修の動画視聴について

知財技能士会では、全国の知財技能士がいつでもどこにいても受講できるよう、定例研修を知財技能士会ウェブサイト上で動画配信しています。研修動画はインターネット環境があれば視聴できますので、スマートフォンやタブレットなどでも視聴できます。研修で使用する資料も同ウェブサイト上からダウンロードが可能です。

知財技能士会の会員は、視聴期間内であれば、最新の定例研修 4 回分を無料で視聴できます。

< 現在視聴可能な研修（2015年6月現在） >

第14回研修 『コンテンツ契約の実務 ～基礎から実践まで～』

第15回研修 『知的財産価値評価 ～基礎編～』

第16回研修 『実は知財と関係が深い「マーケティングとブランドの基礎知識」』

第17回研修 『事業経営と知財戦略 ～知財活動の推進と知財技能士の役割～』

○ 詳細・視聴申込：知財技能士会のウェブサイトをご覧ください。

<http://www.ip-ginoushikai.org/kenshu>